



にこにこ通信第201号

2011/12/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にっこりにこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごーごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚く
お礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私
の人生修行の糧といたしたく、ひと月
に一度お届けしています。どうぞ、忌
憚の無いご意見をお寄せください
ようお願い申し上げます。 謹白。

欲

今年もあと10日をきりました。年
の瀬を迎え、以下に、思うまま文を綴
りました。

12月31日と1月1日は、1日し
か違いませんが、人々、特に日本人は
この年の節を重要にとらえています。

その年の嫌なことを忘れる忘年会、
新たな年に善いことが多くあるように
祈念し、心新たな出陣の意味の新年会
と、口実を設けては呑み騒いでいます
(これはこれで一理あって必ずしも悪
いことではないのですが)。但、「善い
ことが多くあるように」と願うのは欲
張りで、その願いが満たされないので
不満の思いが湧いて苦しむのです。

仏教では「この世は自分の思い通り
にはならないシステムになっている。
それなのに多くの願望・欲望を持つか
らその分苦しむのであって、欲望を捨
てれば苦しむこともない。苦の原因は
欲(煩惱)であると教えています。

キリスト教にも「貧しき者は幸せな
り」という諺があります。これにはい
ろんな解釈があります。これにはい
ろんな解釈がありましようが、ここで
は、「貧しき者は失うものも少ないので
心を煩わせることも少なく、人の情け
や物のありがたさを富める者より深く
感じるができるから幸せである」と
と解釈しましょう。これも欲が苦の元
凶だと教えているのだと思います。

しかし、「欲」を全くなくしたら人は
生きて行けるでしょうか。進歩や発展
はあるでしょうか。「欲」なくして人類
の向上・発展はありません。そこで「欲」
の在り方について考えてみましょう。

生き物は「食欲と色欲」がなければ
生きて行けません。これは「欲」とい
うより、生き物が生きるための「本能」
と言えます。人間以外の生き物は、こ
の生きて行くための最低限の「欲」、「本
能」さえ満たされれば余計な「欲」は
出しません。

ところが「人間の欲」は違います。
自分の趣味を満足させるだけのために
無駄な殺生する。物質欲(金儲け)や
名誉欲(権力)は最初の目標が達せら
れても更にその上へと限りなく求め、
止まることを知りません。そのため
他人を羨み妬み呪い、相手を傷つけそ
して自らも苦悩するのです。その様は

関係のない者から見ると、誠に気の毒
であり、事柄によっては滑稽でさえあ
ります。でも、その反面、その願望が
成就された時は喜びも味わえます。大
きな欲には大きな喜び、数多く欲する
者には数多い喜びが待っています。し
かしその喜びを味わうには苦しい努力
を必要とします(最も顕著なのはプロ
のアスリート達)。多くの人は、喜びの
為に欲望を燃やし苦しい思いをする。
そして成功・目的達成するのは極わず
かであり、ほとんどの者は不成就の末、
苦しみに苛まれるのである。

それで仏教やキリスト教では「苦の
因である欲心・願望を起さず、眼の
前の事実に分勝手な思い(願望・欲
心)を混えず素直に受け止め(河の流
れに身を任せる心)自力を捨て他力に
委ねる心)、そこから得られる安心感と
平静心で生きなさい」と説くのです。
さて、あなたは如何しますか。

「少年よ大志を抱け」という言葉通り、
大欲・大願が心に湧いた時、その成就
に全力を傾注するか、仏教やキリスト
教の説くように最初から分不相応の願
望・欲心を捨て安寧・平和な暮らしを
望むか、年末年始の間にゆっくりお考
えください。
私なりの結論は来年202号で。